

や、増田先生

実験動物カンファレンスが平成2年にスタートして以来、幾多の方々の発表、指説、意見、紹介などが本会会員によって、披露されました。ここに改めて、収録して記憶を辿ると共に、心新たに新年のスタートをきることに致しましょう！

- 第1回 平成2年2月3日(土)
マウスにおける Coprophagy の研究
海老野耕一(財)残留農薬研究所
- 第2回 平成2年4月7日(土)
1. インフルエンザワクチンの鼻腔内噴霧について
2. カテキンおよびテアフラビンのインフルエンザウイルスに対する感染阻止活性
3. 覚醒剤の分析法について
中山幹男(国立子防衛生研ウイルス部)
中山幹男(国立子防衛生研ウイルス部)
寺田 賢(杏林大医学部法医学教室)
- 第3回 平成2年6月2日(土)
1. 外来患者の疾病の種類と内分泌疾患について
2. 糖尿病の臨床について
青木 忍(日本獣医畜産大家畜病院)
道佛晶子(杏林大第3内科学教室)
- 第4回 平成2年8月4日(土)
1. ラットの繁殖成績と交尾行動について
2. ネズミコリネ菌病の研究
外尾亮治(財)動物繁殖研究所土浦
天尾弘美(日獣畜大実験動物学教室)
- 第5回 平成2年10月8日(土)
1. 感染症とNOxの関係について
2. Progesterone の皮下埋没処置によるモモットの性周期同期化と繁殖生理学的基礎研究
大高茂雄(船橋農場)
斉藤 学(国立子防衛生研)
小坂忠司(財)残留農薬研究所
- 第6回 平成2年12月8日(土)
実験動物用飼料の嗜好性に関する検討
桑原吉史(リコック酵母工業株式会社)
- 第7回 平成3年2月16日(土)
d d Y系に出現した尿糖を伴う肥満マウスの育成と調査について
鈴木 亘(株)ツムラ薬理研究所
- 第8回 平成3年4月20日(土)
第38回日本実験動物学会出題演題について
- 第9回 平成3年6月15日(土)
1. ベンツプロマロンの催奇形作用
2. モルモットのネズミチフス菌の疫学的研究
島村和位(島居薬品(株))
飯島 治(株)ツムラ
- 第10回 平成3年9月7日(土)
1. FTS(血清胸腺因子)の有効性薬理試験
2. サルゾスルファピリジン(抗リユーマチ薬)の薬効薬理
高山秀司(三井製薬工業株式会社)
星野二郎(生化学工業株式会社)
- 第11回 平成3年10月19日(土)
1. 膀胱ヘルニアの発生機序に関する研究
2. 雄ラットの副生殖器官摘出が雄の妊娠に及ぼす影響
3. 話題提供者
及川寿浩(島居薬品株式会社)
伊藤恒賢(財)動物繁殖研究所
飯島 治(株式会社 ツムラ)
- 第12回 平成3年12月14日(土)
1. 性周期同期化モモットの受精卵移植に関する研究
2. ラット、マウスの生産施設における飼育経験
上田英夫(財)残留農薬研究所
佐々木敬幸(財)動物繁殖研究所
- 第13回 平成4年2月1日(土)
1. 実験用カニクイザルに見られる異常眼底所見と眼疾患モデルの開発
2. ヘアレスラットの特性と皮膚常在細菌叢
鈴木通弘(社)子防衛生協会
秋元敏雄(日本医科大実験動物施設)
- 第14回 平成4年4月18日(土)
1. シアムマウスにおける3種の臭覚受容器に関する透過ならびに走査電子顕微鏡学的研究
2. 人生の生きがいとすばらしい海外旅行
新井 徹(根本特殊化学株式会社)
吉田照明(株)日本リサーチ

- 第15回 平成4年6月13日(土)
 1. 実験動物と動物福祉 笠井一弘(ヘキストジャパン株式会社)
 2.メラニン研究とモルモット 稲葉智之(株式会社 資生堂)
- 第16回 平成4年8月22日(土)
 1. rhIL-6を持続的に産生する形質転換 BHK-21細胞を移植したメトマウスで認められた造血系を生体とする変化 芹沢 功(キリンビール株式会社)
 2. 飼育器材等の開発について 石原智一(株式会社 イシハラ)
 1) 行動観察全時測定装置
 2) 飼育架台用自動給水装置
- 第17回 平成4年10月24日(土)
 1. ブリーダーにおける長期飼育試験について 勝山 慎(日本ファルマ株式会社)
 - F344/DuCrj ラットを中心に - 齊藤正好(千葉大医学部付属診療
 放射線技師学校)
 2. 1)放射線医学における実験動物の役割
 2) インターフェロン誘発剤およびhCGのオイクス増殖抑制効果の検討効果
 -放射線全身照射マウスのオイクス感染モデルを用いた検討-
- 第18回 平成4年12月12日(土)
 1. インターフェロン誘発剤およびhCGのオイクス増殖抑制効果の検討効果 齊藤正好(千葉大医学部付属診療
 -放射線全身照射マウスのオイクス感染モデルを用いた検討- 放射線技師学校)
 2. 今後のコンファレンスについて 齊藤 学(国立予備衛生研究所)
- 第19回 平成5年2月20日(土)
 1. 動物飼育が幼児の情緒発達に与える影響 その1 桜井富士朗(桜井動物病院)
 2. 実験動物関連器材から見た環境統御(餌、床敷、水等に関して) 市川 一(加商株式会社研究開発課)
 3. 安全性試験において日頃抱えている疑問点 大石周代((財)動物繁殖研究所土浦)
- 第20回 平成5年4月17日(土)
 1. 床敷の違いによる飼育環境および作業性について 千葉 薫((財)たばこ弘済会)
 2. 新しい糖尿病疾患モデル動物(C57BL/6J-ob/ob:小型肥満マウス)に関する病理学的研究 内田和美((株)ヤマト本社中央研究所)
- 第21回 平成5年5月22日(土)
 第40回日本実験動物学会総会(6/2~6/4, 仙台) 発表予演会
 1. p-2 動物実験手技訓練用ウサギモデルの開発 信永利馬、仲間一雅
 2. p-7 産乳直後の前肢切断マウスにおける断端部の生体培養法の検討 信永利馬
 3. p-13 Congenic strain B6-hus マウスの生物学特性について 信永利馬
 4. p-14 ddY系に出現した尿糖を伴う肥満マウスの系統育成と調査結果について 鈴木 亘
 5. p-18 WBN/Kob ラットの若年期における腎臓の超微形態的検討-糸球体係蹄壁の陰性荷電および構成細胞
 について- 仲間一雅、秋元敏雄
 6. p-20 SD ラットにおける血液生化学的検査値におよぼす加齢の影響 原田由美
 7. A-39 凍結剤の手術時間及び融解後の遠心分離がマウス精子の生存性及び授精能に与える影響 笠井一弘
 8. A-40 各発生ステージのマウス胚における超急速凍結後の生存性及び移植成績 笠井一弘
 9. A-44 4日性周期ラットの排卵のためのホルモン放出に対するエーテル麻酔の効果 信永利馬
 10. A-45 30日間、1晩同居交配におけるシリアンハムスターの繁殖成績の比較 山口孝雄、齊藤 徹、外尾亮治、若藤靖匡、高橋和明
 11. A-46 薬理試験用中型犬 BFF1の作出について 千葉丈洋
 12. B-25 crh マウスの毛周期 稲葉智之
 13. B-34 WBN/kob 雄ラットの脾における内分泌細胞の増殖 仲間一雅
 14. B-36 膀胱ヘルニアの発生機序に関する研究(第一報) 島村和位、及川邦浩、高橋和明
 15. B-41 WBN/kob ラットの精巣の組織学的変化について 秋元敏雄、仲間一雅
 16. B-48 若年期 WBN/Kob ラットの循環器系組織に関する形態学的検討 秋元敏雄、仲間一雅
 17. C-5 ネズミコリネ菌の研究 VIII. 自然感染ラットにおける菌分離成績 小向由美、天尾弘実、三好哲夫、齊藤 徹、高橋和明、齊藤 学
 18. C-18 ネズミコリネ菌の研究 IX. シリアンハムスターの口腔由来 B0 株の皮下および筋肉内接種 天尾弘実、金本東学、小向由美、齊藤 徹、高橋和明、齊藤 学
 19. C-40 スンクスにおけるメデトミジン-ケタミン麻酔の有効性とアチバメゾールによる拮抗効果 青木 忍、齊藤 徹、高橋和明

20. C-41 スンクスにおけるメドトミジンの鎮静効果とアチバメゾールの拮抗効果 青木 忍、齊藤 徹、高橋和明
21. C-45 銅および鉄欠乏食飼育ラットにおける毒性学的検討 林 裕
22. C-53 ウサギの角膜移植手術における眼科用保定器の作製 石原真吾、天尾弘実、齊藤 徹、高橋和明
23. C-55 動物実験に用いられるイヌに代わる代替動物候補としての大型ウサギ 信永利馬
24. C-58 急性経口毒性試験における絶食時間についての検討 首藤康文、海老野耕一
25. D-3 スンクス(*Suncus murinus*) 動鼻器の微細構造 及川寿浩、島村和位、齊藤 徹
26. D-4 スンクス、ハムスター、スナネズミの香腺に関するレクチン組織化学的研究 青木 忍、齊藤 徹、高橋和明
27. D-7 ハタネズミ(*Microtus montebelli*) の Scent gland 齊藤 徹、望月康正、高橋和明
28. D-10 ラットの膵臓の外部形態と膵管分布について 仲間一雅、秋元教雄
29. D-20 実験用ミドリザルの眼圧値—シエツツ眼圧計とトノベン眼圧計での検討 鈴木通弘
30. D-21 自発運動量及び飲水行動量の同時測定によるスンクス(*Suncus murinus*) の両行動の日周期リズム 齊藤 徹、木崎巴奈、青木 忍、高橋和明
31. D-23 オープンフィールド試験による視覚機能障害ラット検出の可能性 清澤岩水、齊藤 徹、高橋和明
32. D-25 実験小動物における交尾行動パターンの比較 齊藤 徹、外尾亮治、高橋和明
33. D-26 雄ラットの加齢に伴う妊孕能、交尾行動および血中ホルモンの変化 外尾亮治、齊藤 徹、高橋和明
34. D-27 雄ラットのロードーシスおよび勤務行動に対するメタンフェタミン単一投与の影響 齊藤 徹、望月康正、蒔田浩平、丹羽 健、齊藤正好、寺田 賢、高橋和明
35. D-28 性周期同期化雄に対するモルモットの交尾行動について 小坂忠司、外尾亮治、高橋和明、齊藤 徹
36. D-29 チンチラの交尾行動パターン 齊藤 徹、原口清輝、天尾弘実、青木 忍、高橋和明
37. D-30 雄成熟モット、ウサギおよびマナーモットに対する P-chloroamphetamine (PCA) の誘起射精効果 齊藤 徹、大高茂雄、外尾亮治、荻久保康司、小坂忠司、若藤靖匡、高橋和明
38. D-31 スンクスの雄1匹に対する雌1および2匹交配時の射精回数について 齊藤 徹、橋本晴夫、外尾亮治、若藤靖匡、高橋和明
39. D-37 メタンフェタミン(覚醒剤)のマウスに対する免疫抑制効果について 齊藤正好、寺田 賢、丹羽 健、齊藤 徹、高橋和明

- 第22回 平成5年7月10日(土)
特別講演
「ネコはなぜ、成長すると、遊ばなくなるのか」 大川尚美(比較心身症研究会監事、桜井動物病院副司)
- 第23回 平成5年10月2日(土)
1. 高プロラクチン血症と性行動 藤平篤志(日本獣医畜産大実験動物学教室)
2. 糖尿病と性行動 芹沢 功(キリンビール(株))
- 第24回 平成5年12月11日(土)
1. 微生物(複合生菌剤)の応用と畜産環境問題 市川洋征(株式会社 ビーティエヌ)
2. サウスカロライナ医科大学に留学して 金井孝夫(東京女子医大実験動物中央施設)
- 第25回 平成6年2月26日(土)
化学療法剤評価のための実験的マウス抗酸菌症の定量的気道感染モデル系と尾静脈感染モデル系
特別講演 「動物心理学(行動学)の歴史」 土井教生(財)結核予防会 結核研究所
浅見千鶴子(お茶の水女子大名誉教授)
- 第26回 平成6年5月21日(土)
1. 特別講演「夢と現実の担持役—実験動物学」 信永利馬(日獣畜大客員教授)
2. 「実験動物学会」子演会 荻久保康司、鈴木宇内、永峯晃夫、森谷直樹、古仁所恭子(日獣畜大実験動物学教室)
- 第27回 平成6年7月16日(土)
1. データのない動物種への薬物投与量換算法—SMEC 換算法の紹介と実験動物学の分野への応用の可能性— 飯島 治(ツムラ中央研究所 創薬研究所)
2. 床敷材の有用性について 永露博昭(資生堂 安全性・分析センター)
- 第28回 平成6年10月1日(土)
特別講演 脊椎動物の臭覚系の形態と機能 谷口和之(岩手大農学部家畜解剖学教室)
「資生堂研究所の紹介」

